

令和5年度 福岡県観光功労者表彰受賞者 受賞者・団体一覧

【個人】

受賞者	受賞理由
公益財団法人北九州観光 コンベンション協会 職員 (いけうち さおり) 池内 さおり	約21年間の長きにわたり、北九州市の観光情報発信、国内外からの観光客誘致、土産品特産品のPRおよび販売などの観光振興事業に携わってきた。 なかでもInstagram、FacebookなどのSNSサービスを活用した情報発信は立ち上げから携わり、右肩上がりにフォロワー数を伸ばした(現在のフォロワー数:約39,000)。また、北九州観光情報サイト「ぐるリッチ北Q州」の投稿業務ではユーザーのニーズに沿った情報提供に尽力し、4年間で担当当初の約4倍のセッション数を記録した。 他にも、来訪者への情報サービス提供を目的に発行する季刊情報誌「北九州観光イベントだより」の編集を担当し、市内の祭り、イベント情報の収集、確認、レイアウト等のデザインに携わった。
公益財団法人北九州観光 コンベンション協会 職員 (のがみ ひろつぐ) 野上 弘嗣	約21年間の長きにわたり、門司港レトロ地区での施設管理や観光土産店・オンラインショップの運営、国内外からの観光客誘致などの業務に携わってきた。 特に、修学旅行誘致のための年間約70社を訪問するセールス活動や、インバウンド誘致のための地元企業と調整したインセンティブ事業の企画や旅行社への助成事業、地元企業向けのインバウンドセミナーを開催し約230名を集客するなど尽力してきた。 また、地元企業団体と協力し、外国人観光客を対象とした市内での飲食等に使用できるクーポンを作成しインバウンド客の市内滞在を促した。
博多松囃子振興会 顧問 (ほり たけし) 堀 武志	【略歴】(役員期間:15年) 副会長 平成20年1月1日～令和元年12月31日 会長 令和2年1月1日～令和4年12月31日 顧問 令和5年1月1日～ 県の重要な観光資源の一つである博多どんたくの中で行われている「博多松囃子」の保存・継承に長い間携わり、令和2年からは同会会長としてリーダーシップを発揮し、博多松囃子の国重要無形民俗文化財の指定(令和2年3月16日)に貢献した。 また、コロナ禍における博多松囃子の対応について、令和2年度は、総会直前まで開催に向けて準備をしていた中、コロナの蔓延状況などを考慮し、延期の決断を行った。 一方、令和3年度は、全国的な祭り行事が延期・中止されるなど、大々的に活動が制限される中、規模を縮小し安全を確保したうえで行事を催行する等、松囃子の保存・継承に尽力した。
一般社団法人柳川市観光協会 理事 (やまだ みよこ) 山田 三代子	接遇やマナー、話し方などの講師として、平成17年から「柳川観光キャンペーンレディ水の精」の育成に努めており、柳川のPR活動を市と共に進めている。 着地型観光体験プログラム「水郷柳川ゆるり旅」にて、英会話を使った観光案内プログラムの提案及び実施に尽力した。 また、自身の英語講師としての特技やツアーコンダクターとしての経験を活かし、インバウンド向けの案内や、要人(オーストラリア大使、元東ドイツ大使)のアテンドなども務め、広く支持されている。
一般社団法人大川観光協会 理事 (やまと ひさこ) 大和 寿子	一般社団法人大川観光協会に理事として6年間、副理事(副代表理事)として6年間従事し、福岡県大川市の観光発展に寄与した。 大川市の特産である「えつ」をPRするため、えつまつりの開催や各料理店で使えるえつ料理のクーポン、お食事御招待券の発行などの事業に尽力している。また、本人もえつ料理を提供する料亭旅館三川屋の6代目女将として35年間業務に精励している。 また、新たな大川市の特産品としてなまづを使った料理を模索し、「川あんこうバーガー」を開発した。

【団体】

受賞者	受賞理由
(もじこうれとろくらぶ) 門司港レトロ倶楽部	門司港レトロ倶楽部は、門司港レトロがオープンした平成7年から現在まで、門司港の観光振興と地域活性化を目的に活動を継続している。 観光振興では、下関市の団体と連携して開催する「海峡フェスタ」の主催を始め、多くの地元イベントへの協力や支援を行っており、団体会員らが主催・協賛する門司港地区でのイベント開催件数は令和4年度で年間約180件となっている。 また、課題解決のために多くの派生団体を生み出し、門司港のまちなみ・観光地としての在り方を地域全体で考え継承していく仕組みづくりなど、持続的な観光振興に向けた人材育成を行っている。
(こうらさんのもりとかんきょうをまもるかい) 高良山の森と環境を守る会	平成12年設立より地域の大切な資源である宝の山「高良山」を賑わいづくりの拠点とするため、あじさい園やもみじ谷、遊歩道の手入れ、清掃等を、年間十数回行っている。九州オウルレのコースにもなっており、年間6,000人ものコース来訪者を楽しませている。 6月には「あじさい祭り」、11月には「もみじ狩り祭り」を開催しており、地元の中学高校の生徒達にも参画してもらうことで、地域住民とのふれあい作りに繋がっている。 また、竹林整備で発生する竹を有効活用したメンマづくりを行うことで、観光地の保全意識の醸成や新たな名物づくり、活動資金の確保に努めるなど、独自の取組を行っており、「高良山」の保全と観光振興に大きく寄与している。
(とのがわくりんくらぶ) 殿川クリーンクラブ	殿川クリーンクラブは、桜の名所として親しまれていたが管理が行き届かなくなり荒れていた殿川ダムの景観を再生しようと、平成20年4月に結成された。 ダム周辺の土地約44,000㎡を借り上げ、ここを「殿川四季の広場」と名付け、9本の桜の苗木の植樹から始めた。少しずつだが、毎年植樹や花壇の手入れ、草刈り、樹木の剪定等の周辺整備を進め、この活動に賛同した企業等の協力もあり、多くの方が訪れる桜の名所へ再生を行った。毎年4月に「桜まつり」を開催している。 「殿川ダム四季の広場」と名付けているように、桜20種類250本、紫陽花200株、ツツジ250本、梅30本等の四季折々の花を楽しめるよう植栽等を行っており、町の観光資源であった殿川ダム周辺の景観を再生し、来訪者の受け入れ環境の整備等を行った。